

田舎に帰ろう

高校を卒業して、

進学や就職を機に志賀町を離れた人は大勢います。

一度は親元を離れて生活してみたい。

一体自分はどこまでやれるのか試してみたい。

田舎から出て、都会で生活してみたいなど

色々な理由で、地元を離れることを

選択したのではないのでしょうか。

今では、都会での生活が当たり前になり

お盆とお正月に帰るとい人がほとんどかもしれません。

昨年実施した住民アンケートで

「志賀町には働く場所がない」と答える人が上位を占めました。

この「働く場所」の中には

さまざまな職業・業種が選べないということもありますが

実際に志賀町では、製造業を中心にサービス業・介護職などで

働き手が不足しています。

photo：増穂浦海岸

志賀町も 消滅可能性都市に

平成26年、「日本創生会議」による2040年の市区町村別将来推計人口が公表され、各地で衝撃が走りました。日本全体の半数近い市町村が、将来的には消滅する可能性があると公表です。志賀町も「消滅可能性都市」に該当しました。2010年の志賀町の人口は、2万2千216人(国勢調査)。30年後には、1万人減の1万2千人になると予測されました。

日本の人口は、2008年の1億2808万人をピークに減少に転じ、2050年には、9708万人まで人口が減少すると試算されています。日本全体で、人口が減少するものの、都市部では人口が増加し、地方から都市部へ若者が流出すると懸念されています。事実、都会では保育所不足が問題となっていますが、志賀町では子どもが減少し続け、保育所や学校が統廃合されました。

志賀町では、今後も人口減少が続くと想定されますが、出生率の向上や、転入促進で、2060年の目標人口を約11,000人と設定し、地方創生に取り組んでいます。(表1)

昨年10月に「志賀町人口ビジョン」と「志賀町創生総合戦略」を策定し、^{*}4つの基本目標に基づいて地方創生に取り組んでいます。基本目標の「地方における安定した雇用を創出する」という観点から、雇用とUターンについて考えます。

住民アンケート

■志賀町に欠けているものは何だと思えますか？
1位 働く場所がない…64.0%

町内在住18歳以上の男女2,500人に調査
(平成27年6・7月実施)

志賀町は今

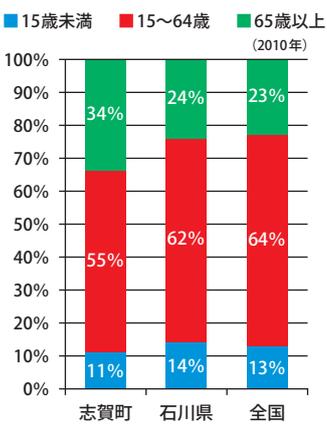
雇用を語る上で最も重要なことは、企業による雇用機会の創出ですが、全国的に求人数が求職者数を上回っているのが現状です。志賀町の企業でも、現在、人材の確保が課題となっています。

2010年の国勢調査によると、志賀町の生産年齢人口（15歳～64歳の人口）割合は、全国平均が64%、石川県が63%、志賀町は55%と全国や県の平均より低くなっています。（表2）その主な要因は、15歳から24歳までの大幅な転出超過。15歳未満の割合は、2%しか差がないことを見ても、高校を卒業して就職や進学を機に、転出が増えていると考えられます。

自然動態でも、10年間の年平均では死亡者数が341人で、出生者数は140人と、死亡者数が200人多く、自然減となっています。

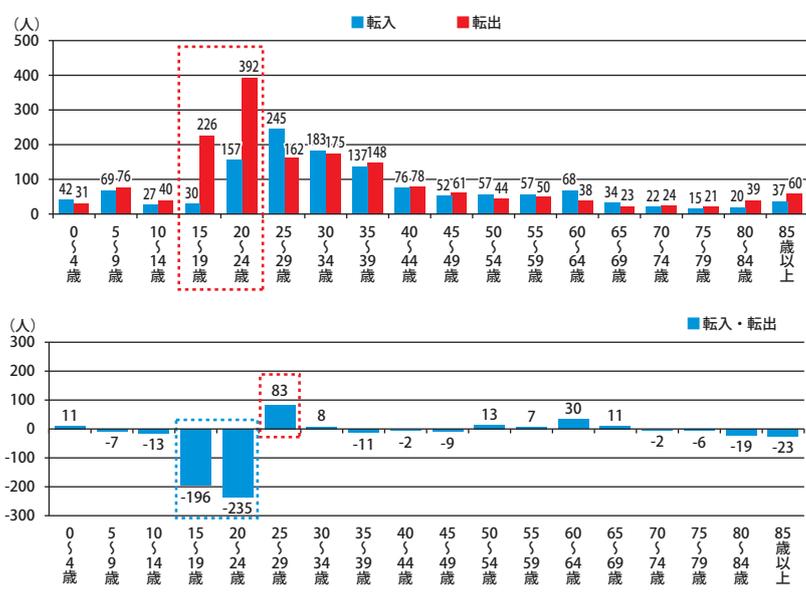
このまま何もしなければ、転出と自然減による人口減少が続いていくこととなります。

【表2】生産年齢人口割合

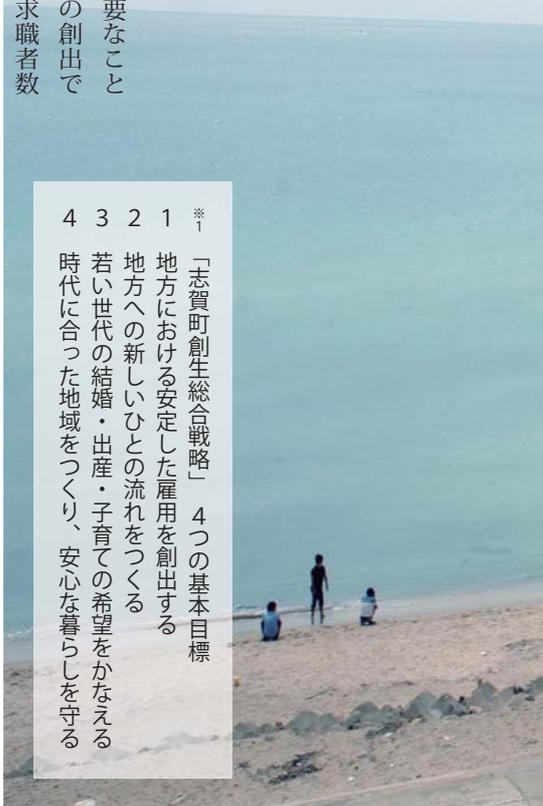
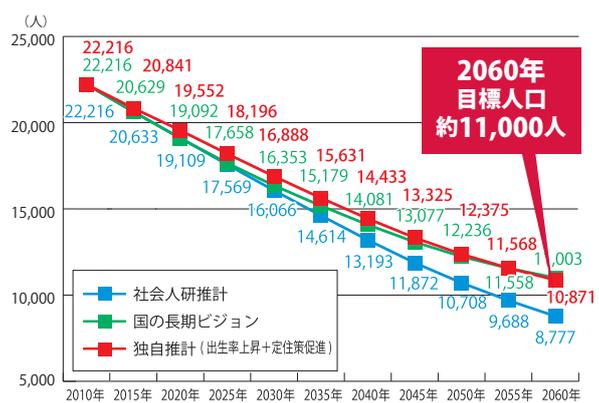


年齢別に志賀町の転入転出状況を見ると、ほとんどの年齢で転出が多くなっています。しかし、転入が転出を上回る年代があります。その年代は、25歳から29歳。（表3）この傾向は34歳頃まで続きます。後は会社を退職したりタイア世代。他の年代でも転入転出の数は若干転出が上回るもの、あまり差がありません。

【表3】年齢区分別転入・転出の状況



【表1】志賀町人口ビジョンの目標人口



志賀町は「人」を求めています

photo：能登中核工業団地

人手不足は深刻な問題

厚生労働省の資料によると、労働人口（働く人たちの人数）は平成9年をピークに減少に転じています。

完全失業率は平成20年のリーマンショックによる世界的な不況で一時、5.6%にまで達しましたが、平成27年には3.4%と、完全失業者数は70カ月連続で減少しています。

近年景気が回復し、企業の経済活動が活発になる中、労働人口が減少し、全国的にも人手不足となっています。

一昨年からは、町内企業でも人材が足りないという声が出始め、求人を出しても応募がない深刻な状況となっています。

町内全ての業種において人手不足

毎週更新されるハローワークの求人票を見ると、製造業はもちろん、建設業、サービス業、農業、漁業、介護など、あらゆる業種において求人されていて、時期によってバラつきがあるものの、求人は年々増加傾向にあります。

能登中核工業団地は今

昭和54年から分譲が始まった能登中核工業団地の従業員数は、統計が残る平成12年以降では、平成13年の1046人をピークに徐々に減少していき、リーマンショックの影響があった平成21年には1年で200人余りが減少し773人となりました。平成22年には、752人まで落ち込んだものの、平成23年以降はわずかに増加に転じています。

平成28年4月現在、能登中核工業団地に立地する企業は31社と分譲開始以来、過去最多の企業数となりました。

企業数の増加と共に、従業員数も一昨年から昨年に比べて61人が増加、昨年从今年にかけても73人が増加し、934人まで回復してきています。2年間で134人の新たな雇用が生まれたことになります。

また、景気の回復を追い風に、立地企業の増設も相次ぎ、それらの計画を含めると、まだ100人以上の人材が足りない現状です。

子どもがうれしい

子どもを持つ世代としては、教育環境が重要なポイントではないでしょうか。都市部と比べると、塾や習い事の数は決して多くはありません。しかし、植物や昆虫など、図鑑に載っているようなものが目の前の自然に広がっています。極端な話かもしれませんが、勉強はどこでもできます。しかし、実際見聞きし触れ合う体験は環境がないとできません。自分が子どもだった頃の体験は、貴重な財産になっているでしょうし、子どもたちにも経験させてあげたいものです。

「よく学び、よく遊べ」。昔からよく言われている言葉で、誰がいつ言ったか分かりませんが、子どもに伝えたい言葉の一つです。子どもの頃に経験した遊びの中に創意工夫があり、企業が求めている「主体性」「粘り強さ」「コミュニケーション能力」が身につくのです。

※主体性とは、さまざまな状況下においても、自ら考え、判断し、行動するということ

自然と共に、 子どもは 大きく成長します

大人の便利は子どもに必要とは限らない

子どもたちの目線で考えてみたいと思います。

大人が田舎を敬遠する理由として、田舎には、商業施設や24時間営業の店が少なく、遊ぶ場所がないという声が多く聞かれます。

要するに、田舎は刺激が少ない。しかし、子どもたちにとっては、そういった刺激は必要ありません。子どもが子どもらしくいられる場所こそが、大切なのではないだろうか。



「よく遊び、よく学べ。」

都会にいるあなたへ

メッセージ

田舎の生活

都会は田舎とは比べ物にならないほど交通網が発展していて、便利なこともたくさんあります。しかし、志賀町には青々とした緑と、広大な海が広がる豊かな自然にあふれ、都会とは違う魅力がたくさんあります。

志賀町に住む30代男性は、「都会から見れば不便なところだと思うかもしれないが、インターネットで何でも手に入るし、都会は遊びに行けばいい。食べ物おいしいし、あくせくしない時間的な自由を感じる」と言います。20代女性は「毎日2時間近くかけて電車通勤していたが、それが当たり前になってきた。ここでは、20分で会社に行けるし、通勤ラッシュもない。車がないと生活ができないが、不便さは感じない」と話します。

たまに帰ってきて感じる「ずっとここにいられたら幸せだろう

な」という気持ちは、何物にも代えがたい価値なのではないでしょうか。

最強の助っ人

学校を卒業して、一度も石川県を離れたことのない人や卒業後に戻ってきて年月が経った人は、志賀町の良さにはなかなか気がつかないかもしれません。

世の中を変えるのは、「若者、よそ者、バカ者」だと言われていきます。田舎を離れ、すっかり都会に馴染んだあなたは、立派な「よそ者」です。そして、見ず知らずの土地に来たよそ者よりも、田舎のことをよく知るあなたは、最強の助っ人なのです。

あなたが必要です

都会の生活のような華やかさはないかもしれませんが、都会にいるよりも心豊かな生活が待っています。今と同じような仕事はないかもしれませんが、新しい人生が期待できるのではないのでしょうか。

検証 Part 1

志賀町で働く人に聞きました。 【志賀町のいいところ】

協力：NTN能登製作所



伝統芸能の継承。
家族・地域に恩返し。

谷内 隆太さん

志賀町の伝統ある太鼓を小さい頃から見てきて、自分もやりたいとずっと思っていました。なので、最初から都会へ行きたいと思いませんでした。この会社を選んだのも、志賀町で仕事をしたかったからです。仕事も、地域行事も積極的にやって、地域に貢献していきたいです。

進学や就職を機に、都会へ行った同級生もいます。都会には、ここにはないものがあり、少しうらやましいとは思いますが、それも一時的なものです。都会には、観光や遊びに行けば、それで十分です。今はインターネットで何でも買えるので、そこは大きいですね。大切な家族と共に過ごし、今までの恩を返していきたいです。



美しく、海産物豊富な海



生き生きと太鼓演奏する谷内さん

谷内 隆太さん

生まれてから
ずっと志賀町
(21歳)



仕事後、趣味の釣りにもいけます。

加世 孝行さん

能登移住のきっかけは、以前の仕事で、3年間ほど来ていた時に妻と出会い、残る決心をしました。最初は、雪を心配しましたが、問題はありませんでした。ただ、天気は曇りが多いです。

東京では、仕事場に近しい社宅から徒歩通勤でしたが、40、50分は待つ「開かずの踏み切り」があり、遠回りしていました。学生時代は、冬の雨の日が辛かったです。通学時、傘を畳んで電車に乗ると、人が密着し、傘に付いた冷たい水が服に染み出てくるのです。それに、電車が大きく揺れて怪我をする恐れもあります。こちらは通勤ラッシュも、車の渋滞も全くなく快適です。夏場は仕事が終わってか

加世 孝行さん

東京都品川区出身
(47歳)

志賀町の いいところ

検証① 家族がすぐ側にいる

一番身近で、頼りになる家族。お互いにサポートできるのは、地元にいるからこそです。今までお世話になった親に恩返しもできます。

検証② 伝統芸能がある

太鼓や獅子舞、日本遺産のキリコ祭りなど、古くから伝わる伝統芸能があります。地域行事に参加すると地域の人と仲良くなり、その中でコミュニケーション能力が養われ、仕事にも活かすことができます。

検証③ 光インターネット

町のケーブルテレビに加入すれば、行政防災無線端末を利用し、光ケーブルのインターネットが利用できます。

検証④ 美しい海

こちらの海は海産物の宝庫。釣り好きにはもってこいの場所です。海水浴場やキャンプ場もあり、サーフィンを楽しむ人も。能登金剛には、ヤセの断崖・義経の舟隠しから南は巖門まで、絶景の海を満喫できます。海に沈む夕日の美しさには心洗われます。

ら、まだ明るい趣味の釣りにも行けます。時間的な余裕と自由を感じますね。

学生時代通った学校の体育館や運動場は、屋上にありました。運動場はコンクリートかアスファルト。こちらの学校は、豊かな自然に囲まれ、広々とした教育環境が整っています。都会だと、子どもの親同士で意見がぶつかり合うこともあるのですが、こちらでは、親同士仲良くやっています。

能登から人が流出しているのは事実です。住宅事情か、雇用関係なのか分かりませんが、やはり人は刺激を求めているのかもしれない。しかし、都会の住宅事情も決していいわけではなく、ワンルーム賃貸で7、8万円したり、場所によってはもっと高額です。やはり、こちらの方が住みやすいです。

東京に帰ると、夜遅くに塾帰りの子どもたちが、「今日は疲れたー」と言っているのを聞くと、大人たちが言う「疲れた」と同じように聞こえます。こちらの遊び疲れた子どもたちは、そのような「疲れた」とは言わないですね。



今年4月に開校した志賀小学校④と併設の放課後児童クラブ⑤



子どもの成長が早く感じします。

山本 佳文さん

NTN能登製作所の立ち上げに携わったことがきっかけで、ここに来ました。子育て環境については、子どもの習い事の種類の少なさを、子どもの可能性を見いだせない

山本 佳文さん
愛知県あま市出身
(41歳)

のでは」と思うことはありません。親が英才教育をさせたのであれば、正直物足りないでしょう。反面、子どもが伸び伸びと自然の中で成長できる点は非常に良いことです。子どもを見ていて思うのは、「こちらの子どもは、自分一人でもできるのが早い」ということ。都会は、防犯に関するさまざまな危険があつて、親は過保護になつてしまふ。どこへ行くに

も送り迎えするわけです。こちらは災害や犯罪が少なく、安心して生活できるため、子どもたちは自由が多く、立ちが早いのではないのでしょうか。「いつの間にか、こんなこともできるんだ」と感心することが多々あります。学校中が友達というのは、都会の学校では考えられないですね。一学年上は未知の世界です。同級生でも知らない子はたくさんいますからね。一度都会へ出て、色々経験することは大事だと思います。「30歳手前位で、その時の彼女を連れて、地元に戻ってくる」というのが一番理想的ではないでしょうか。

事前に工場見学できます

就職する上で、実際に働く場所はどんなところか、一番心配かもしれません。事前に役場へ連絡すると、企業と相談した上で日程調整し、工場見学が可能です。一社見学だけでなく、複数社に及ぶ場合でも、一日で見学できるように調整を検討します。工場見学希望者が多数の場合は、会社によっては、日時を指定する場合もあり得ますが、基本的には個別に対応可能。ぜひ、相談してください。



商工観光課 企業誘致対策室
☎0767-32-9341

⑤ 子どもがのびのび育つ

自然の中で、色々体験した子どもは大きく成長します。志賀・富来地域に小・中学校が各2校あり、放課後児童クラブが併設。対象を6年生まで拡大し、志賀で180人、富来で100人受け入れ可能です。また、町立保育園5カ所、乳幼児保育園1カ所、私立幼稚園が1カ所あります。ファミリーサポートセンター制度もあり、共働き夫婦も安心です。どの施設も自然に囲まれ広々とした教育環境です。

⑥ 出産・子育てに関する助成・祝金が充実

・妊産婦医療費助成
妊娠・出産のために生じた疾病に係る医療費を助成します。

・出産祝金交付(商品券)

第1子に5万円、第2子に10万円、第3子以降に15万円交付します。

・乳幼児・児童医療費助成
満18歳に達した年度末まで医療費を助成します。

・多子世帯入学祝金交付(商品券)
第3子以降の小中学校・高校入学に祝金10万円を交付します。

・多子世帯保育料無料
18歳未満児童を3人以上養育している世帯の第3子以降の保育料を無料にします。

志賀町で働く人に聞きました。 【志賀町のいいところ】

協力：(同) ABC SHOE FACTORY



清水 清人さん
埼玉県草加市出身
(51歳)

25年前に3、4年のつもりでここに来ました。それがいつの間にかずっという、家も建てちゃいました。子どもを育てるに当たり、こんなにもいいところはないです。18歳まで医療費がからないのは全国的に珍しいと思います。志賀中学校や志賀小学校を本社の方々が見て、「何だこれは」と必ず言います。それほど立派だということですよ。

ここは、人がごみごみしていないところがいいです。渋谷の本社に行く時、電車も駅も人だらけです。人がたくさんいる環境は別に嫌ではないのですが、ここにきて、「こんな環境があるんだ」と知り、それが良かったんです。

海、山、温泉、別荘地にゴルフ場もあって 四季を感じられる。ここは町全体がリゾート地。

都会は、色々なものがそばにあって便利ですが、今はインターネットで何でも買えます。そうは言ってもネットでは実際に見て品物に触れることは無理なので、便利な都会を求めるのかもしれないです。欲にはキリがないですから。でも、ここは地元の皆さんが思っているよりも不便ではないです。都会の人に「何が便利？」と聞いたら、多分スーパーがそばにあるとか、学校がそばにあるとか、たわいもないことだと思います。車ならスーパーも近いし、あんなに立派な学校もある。どこにいたって、働かなければ食べていけないけれど、こっちは働くところもたくさんありますよ。

自分は一生ここで暮らしていきます。それくらい気に入っています。ここは町全体がリゾート地です。ホテルやゴルフ場、別荘地、温泉、山、そして四季を感じられます。夏は暑いし、冬は雪も降る。まさに人間の住むところですよ。

検証⑦ 町全体がリゾート地

別荘地などのリゾートエリアなどを始め、温泉入浴施設もあり、さらに海も山も満喫できる場所です。美味しいものも豊富で、季節によってさまざまな旬の食べ物が手に入ります。

検証⑧ 家を建てるなら

現在、志賀町では住宅用地を整備しています。その名も「みらいとうぶ」。全32区画が整備済みで、今後さらに造成する予定です。町外から転入してきた場合、最大で398万円の奨励金を用意。町立病院で看護師や薬剤師として勤めると、さらに100万円を上乗せします。一区画58坪から106坪までで、価格は約258万円から約470万円。近くに、志賀小学校があります。

検証⑨ アパートなどの賃貸補助

結婚・子育て世帯で、アパートなどに暮らす世帯に、月5千円を最大3年間補助します。さらに、町内企業に雇用されている場合は、プラス月5千円の加算があります。都会に比べ、賃貸は安め。因みに、実家に住めば、家賃は実質0円です。

上限
498万円
の助成!



住宅用地「みらいとうぶ」は
県内最大の奨励金額を用意

※そのほか、
転入後1年以内の人を対象に
奨励金・助成制度があります。

- ・移住定住促進住まいづくり奨励金
- ・新築住宅の購入で、単身移住最大90万円、家族移住最大170万円(町内建設業者依頼)
- ・移住定住促進空家リフォーム再生等助成金
- 【リフォーム助成】
工事費の1/2で
上限50万円(町内建設業者依頼)
- 【購入助成】
住宅取得費の1/2で
上限50万円



昨年実施した住民アンケートで、定住促進のために重視すべきことは「働く場所の確保・新たな企業誘致」という意見が上位を占めました。現在、能登中核工業団地では企業数 31 社と過去最多の企業数です。また景気の回復で立地企業の増設が相次いでいます。ここでは、その一部を紹介します。



住民アンケート

■定住促進のために何を重視すべきだと思いますか？

- 1位 働く場所の確保……56.9%
- 2位 新たな企業の誘致……29.0%
- 3位 移住者、Uターン希望者への情報発信……25.3%

町内在住18歳以上の男女2,500人に調査
(平成27年6・7月実施)

- 事業内容：産業機械用軸受の製造
- 所在地：石川県羽咋郡志賀町(能登中核工業団地)
- 代表者：代表取締役社長 山崎貴史
- 資本金：10億円(NTN 100%出資)
- 敷地面積：約106,500㎡
- 延床面積：完成品工場 約15,000㎡
熱処理工場 約6,600㎡
- 従業員数：完成品工場 134名
(2016年3月末)
熱処理工場 約20名予定
(2017年9月)



増設予定の熱処理工場イメージ(左)

NTN(株)は、(株)NTN能登製作所に熱処理工場を増設することを決定しました。今まで、別工場に輸送し、熱処理加工していましたが、敷地内に工場を新設することで能登地区の一貫生産体制を確立します。事業拡大の鍵となる軸受商品の品揃え充実と、生産リードタイム短縮のための増設で、来年稼働予定。従業員は20人予定です。

ベアリング軸製造会社
NTN能登製作所
熱処理工場を建設

6月23日(木)、クリサンセマム北陸は、能登中核工業団地内の工場を増設すると発表しました。クリサンセマムの経営者が、県庁を訪れ、谷本県知事に工場増設の意図や増産するワイヤに付いて説明。海外への輸出に取り組む意向も示しました。投資額は約5億円で、自動車用のパワーウィンドウに使うワイヤなどの生産量を現状の2倍に増やし、自動車メーカーからの好調な受注に対応します。

工場を2棟増築予定で、述べ床面積は1,800㎡。1棟は今年11月稼働予定で、もう一方は来年の稼働を見込んでいます。新たに従業員を10人雇い、ワイヤの増産に取り組みます。

自動車のワイヤメーカー クリサンセマム北陸 工場を増設



谷本知事に増設表明をする(左から)菊川社長と菊川会長

不燃木材・能登ヒバ製建材を生産
加賀木材が竣工式
さらに工場増設



竣工式でテープカットをする様子

木材・建材企画販売する加賀木材の木材加工工場「のと里山工場」が完成し、7月1日(金)に竣工式が行われました。不燃木材や能登ヒバ製建材を生産する同社初の自社工場です。工場棟は鉄骨造り、床面積3,300㎡で、薬剤の含有量を測定する独自開発の装置などを導入しました。総投資額は約4億円で、石川県などの補助金を得ました。年内には、さらに工場の増設も予定しています。

増江世吉社長は「健全な林業を支える手伝いをし、里山に恩返ししたい」とあいさつし、中田峰示県農林水産部長、小泉勝町長、石田忠夫県議が祝辞を述べ、能登産木材の市場開拓に期待を込めました。